

2021年（令和3年）度 第35回日本音声学会全国大会

The Thirty-Fifth General Meeting of the Phonetic Society of Japan

主催：日本音声学会（The Phonetic Society of Japan）

会場：Zoomによるオンライン開催*

* Zoomの入室方法については、大会登録をされた方にお知らせいたします。
参加費についての項目をご参照の上、お手続きください。

第1日目 9月25日（土）A会場 Zoom1

12:30~ Zoom入室開始

13:00~14:00 会長挨拶 前川喜久雄（日本音声学会会長）

総会

学会賞授賞式（優秀論文賞、優秀発表賞、学術研究奨励賞）

14:00~15:30 特別講演 Zoom Webinar（開会式・総会と会場が変わります）

中川裕（東京外国語大学）

「多数のクリック子音をもつ言語は音韻体系をどう組織化するか

： “コイサン” 諸語の子音・母音・音素配列」

15:30~15:40 休憩

15:40~17:40 公開シンポジウム Zoom Webinar

“Phonetics and Phonology of Less Familiar Accents of English”

「日本でこれまで比較的なじみがなかった英語方言の音声と音韻」

（終了後 オンライン懇親会）

第2日目 9月26日（日）

9:30~ Zoom入室開始

10:00~12:00 ワークショップ（A会場 Zoom1、B会場 Zoom2）

12:00~13:20 休憩

13:20~15:20 研究発表（口頭発表 A会場 Zoom1、B会場 Zoom2、B会場 Zoom3）

15:20~15:40 休憩

15:40~17:40 研究発表（口頭発表 A会場 Zoom1、B会場 Zoom2、B会場 Zoom3）

17:40 閉会

公開シンポジウムプログラム 9月25日（土）15:40～17:40

“Phonetics and Phonology of Less Familiar Accents of English”

「日本でこれまで比較的なじみがなかった英語方言の音声と音韻」

コーディネーター：近藤真理子（早稲田大学）

（発表題目・発表者に○）

発表1 “Phonetics and Phonology of Singaporean English”

Haizhou Li (National University of Singapore, Singapore), ○Helena Gao (Nanyang Technological University, Singapore)

発表2 “Phonetics and Phonology of Hong Kong English”

○Helen Meng (Chinese University of Hong Kong), ○Mingxing Li (Hong Kong Baptist University), Kun Li (SpeechX), Lifa Sun (SpeechX), Wai-Kim Leung (Chinese University of Hong Kong), Minglin Wu (Chinese University of Hong Kong), Ka-Ho Wong (Chinese University of Hong Kong), Ann To (Hong Kong Baptist University), Yoyo Tsang (Hong Kong Baptist University)

発表3 “Phonetics and Phonology of Indian English”

○Shyam S. Agrawal (KIIT Group of Colleges, India), Pooja Gambhir (IGDTUW, India), Amita Dev (IGDTUW, India)

発表4 “Phonetics and Phonology of Nigerian English”

○Inyang Udofot (University of Uyo, Nigeria), Eno-Abasi Urua (University of Uyo, Nigeria)

ワークショップ 9月26日（日） 10:00～12:00

（A会場 Zoom1）

ワークショップ1：「九州方言音調の研究」のこれまでとこれから
企画者：松浦年男（北星学園大学）

発表1「音調と語音について：母音を中心に」
山田 高明（一橋大学大学院）

発表2「不定語と不定語を含む句・節における音調の実現について
－西南部九州二型アクセント方言の対照－」
佐藤久美子（国立国語研究所）

発表3「二型アクセントの音調実現による類型化の試み－天草下島方言を対象に－」
吉田 健二（愛知淑徳大学ほか）

コメント：五十嵐 陽介（国立国語研究所）

（B会場 Zoom2）

ワークショップ2：日本語音声コミュニケーションにおける非流暢性をめぐって
企画者：定延利之（京都大学）

発表1「記述言語学の観点から見た非流暢性」
定延利之（京都大学）

発表2「コーパス言語学の観点から見た非流暢性」
丸山岳彦（専修大学・国立国語研究所）・吉田奈央（専修大学・東京大学大学院）・
佐々木藍子（東京学芸大学大学院連合学校（配置校横浜国立大学））・井畑萌（南山大学大学院）

発表3「日本語教育の観点から見た非流暢性」
須藤潤（同志社大学）

発表4「音声の非流暢性を測定する試み」
北村達也（甲南大学）・孫静（神戸大学大学院）・林良子（神戸大学）

研究発表プログラム（9月26日）

※優秀発表賞審査対象者は氏名に下線を付しました。今年度の優秀発表賞は後日学会 HP 上で発表し、受賞者にはメールでお知らせします。表彰式については後日 HP 上でお知らせします。

口頭発表 10:00~12:00、13:20~15:20、15:40~17:00

A会場（Zoom1）

座長：籠宮隆之, 久野マリ子

- A1 (13:20~14:00) 丁寧な発話態度に関する音声的特徴と非流暢性についての考察
—日本語母語話者と中国人日本語学習者の比較—
王可心（神戸大学大学院），林良子（神戸大学）
- A2 (14:00~14:40) 講演音声におけるフィラーの出現傾向と個人性に関する分析
松永裕太（東京大学大学院），佐伯高明（東京大学大学院），
高道慎之介（東京大学），猿渡洋（東京大学）
- A3 (14:40~15:20) 中国語を母語とする日本語学習者による態度音声の音声分析：F0 曲線と
声質に焦点をあてて
李歆玥（ATR），石井カルロス寿憲（理化学研究所），
林良子（神戸大学）

（休憩）

座長：峯松信明, 波多野博頭

- A4 (15:40~16:20) 機械学習を用いたポケモン名における音象徴の分析：ランダムフォレスト
を用いて
川原 繁人（慶應義塾大学）
- A5 (16:20~17:00) ドラゴンクエストのモンスター名における阻害音の音象徴と表記効果
清水 泰行（関西学院大学）
- A6 (17:00~17:40) 「逃げる気になる」防災放送に向けたボイストレーニングシステム制作の
試み
高野佐代子（金沢工業大学），長塚 全（Zen ボイスファクトリー），
土田義郎（金沢工業大学）

B会場（Zoom2）

座長：東淳一, 船津誠也

- B1 (13:20~14:00) 言語聴覚士のための音声の音響分析
竹内京子（順天堂大学），青木直史（北海道大学），
荒井隆行（上智大学），鈴木 恵子（北里大学），
世木秀明（千葉工業大学），秦 若菜（北里大学），
安 啓一（筑波技術大学）
- B2 (14:00~14:40) 母語話者度と判定にかかる反応時間の相関
Ruben Perez Ramon（早稲田大学），近藤 眞理子（早稲田大学）
- B3 (14:40~15:20) 言語共通の音韻発達遅滞評価と臨床訓練の試み
上田 功（名古屋外国語大学／大阪大学），Barbara Bernhardt

(University of British Columbia)

(休憩)

座長：牧野武彦, 中川千恵子

- B4 (15:40~16:20) 中国語母語学習者による日本語撥音に先行する母音の音声的特徴
孫 静 (神戸大学大学院), 高田三枝子 (愛知学院大学),
林 良子 (神戸大学)
- B5 (16:20~17:00) 日本人英語学習者の母音発話における母語音声ドリフトの検証
矢澤 翔 (筑波大学)
- B6 (17:00~17:40) 日本人中学生による英語無強勢音節の母音の発音の定量的分析：初等教育
の言語環境による違いの比較
加藤恒夫 (同志社大学), 菅原真理子 (同志社大学)

C会場 (Zoom3)

座長：木村琢也, 田中真一

- C1 (13:20~14:00) 中国語北京方言における「r化音」の複数の調音方法と音響的特徴
朱 春躍 (神戸大学)
- C2 (14:00~14:40) チャハルモンゴル語外来語の発音における音節構造の変化
金正琳 (神戸大学大学院)
- C3 (14:40~15:20) Acoustic Measurement of Laryngeal Constriction in Thai Consonants
Perkins Jeremy (University of Aizu)

(休憩)

座長：久野眞, 竹内はるか

- C4 (15:40~16:20) 隠岐三型アクセントはどのように成立したか
—昇り核化仮説補説—
児玉 望 (熊本大学)
- C5 (16:20~17:00) 熊本県中南部地域の二型アクセント諸方言の分布
山田高明 (一橋大学大学院)
- C6 (17:00~17:40) 奄美語徳之島亀津方言の7母音の音声実態: 母音空間と口唇形状から見る
弁別素性・音声実現・調音運動の関係
加藤幹治 (東京外国語大学大学院, 日本学術振興会)

◇参加費

大会参加費はイベントペイより、事前にオンライン決済をお願いします。

https://eventpay.jp/event_info/?shop_code=8919638980679679&EventCode=P610508277

参加費は学生（学部、大学院）が1,000円、一般会員・準会員が3,000円、非会員（学生以外）が6,000円です。※一日目の特別講演と公開シンポジウムは、どなたでもご参加いただけます。

◇予稿集

予稿集は電子版の発行となります。予稿集は会員マイページにて事前に公開しますので、ダウンロードやプリントアウト等をして各自でご準備ください。

◇新規学会入会受付

音声学会では入会を随時受け付けております。ご希望の方は、以下をごらんください。
<http://www.psj.gr.jp/jpn/membership>

◇懇親会

1日目終了後、オンラインによる懇親会を予定しております。詳細は追ってお知らせいたします。

◇展示

全国大会用のWebサイトに、書店等によるオンライン出展のリンクを掲載致します。ぜひご覧ください。

◇大会運営委員（企画委員会）

〔実行委員会〕林 良子（委員長）、船津誠也（副委員長）、籠宮隆之、高橋康德

〔通信担当〕竹内はるか、竹内京子

〔オンライン化検討〕田中真一・松田真希子

東 淳一、生駒美喜、磯村一弘、川原繁人、久野 眞、久野マリ子、木村琢也、
中川千恵子、波多野博頭、牧野武彦、峯松信明、山本誠子

※次回 2022年度（第36回）全国大会は神戸学院大学で開催予定です。